

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	MK	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	4 年	派遣国	スペイン
派遣大学	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学		
期 間	2024 年 8 月 29 日～2025 年 6 月 6 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (46000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃 292€					
移動	(徒歩) で、約 (10) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	27,200 円	スーパーに 100€、外食に 60€くらい
学用品購入費	500 円	コピー代やノート代
交通費	500 円	基本的に徒歩で生活できる
交際費	3,5000 円	旅行費
その他	7,650 円	衣服 30€、通信料 15€

合計

70,850 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

とても治安はいいと思います。私の身の回りで盗難やスリにあったという話は聞きませんでした。町全体が落ち着いた雰囲気があり、日中はもちろん、夜間でも比較的安心して歩くことができました。

ただし、サンティアゴは小さな町なので、夜の人通りはかなり少ないです。バスの運行も早めに終わるので、帰宅手段を考えた行動が必要です。また、スーパーの入り口や旧市街では

物乞いを見かけることがありますが、しつこく絡まれることはなく特に危険を感じることはありませんでした。
基本的な防犯意識を忘れなければ安心して過ごせる街だと思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(125,230) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Cigna Healthcare (ONCAMPUS HEALTHCARE) →ビザ取得には、スペインの保険会社と契約する必要がある		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(約 83,500) 円 484.45€

保険の名称	ERGO Seguros de Viaje →大学側から加入を求められる		
加入期間	(12) ヶ月間	保険料	(約 3,400) 円 20€

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**サンティアゴ・デ・コンポステラ**)

私が滞在したサンティアゴ・デ・コンポステラは、スペイン北西部ガリシア州の州都です。ガリシアは「グリーンスペイン」の名が示す通り緑豊かで、酪農や漁業が盛んな地域です。気候は雨の多さが印象的でしたが、滞在期間を通して過ごしやすい気候でした。

都市の象徴は大聖堂です。サンティアゴへの巡礼の終着点としても知られています。毎日たくさんの巡礼者の人々が大聖堂を目指して歩いてきており、大聖堂前の広場ではゴールを喜ぶ人の拍手や伝統楽器であるガイタの音色が響いています。

街は、巡礼者で賑わう歴史深い旧市街と、生活の中心となる新市街に分かれています。大学のキャンパスは旧市街の北側と新市街の近くにあり、街中にはバスがありますが、北と南は徒歩 30 分程度でバスの所要時間と大差ないため、徒歩移動が多くなると思います。

【学業編】

1. 大学情報

大学	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	所在地	Universidad de Santiago de Compostela, Avenida do Doutor Ángel Jorge Echeverri, s/n, 15705 Santiago de Compostela, A Coruña, Spain
最寄空港	サンティアゴ・デ・コンポステラ空港	空港からの距離	12 km
空港⇄大学	(タクシーで 15 分) *移動手段		
学生数	約 30000 人	留学生数	約 3000 人
学部	【サンティアゴ・デ・コンポステラキャンパス】 ※街中に学部棟が点在している <北> 文献学部 看護学部 医科・歯科学部 コミュニケーション科学部 教育学部 経済・経営学部 <南> 哲学部 地理・歴史学部 物理学部 数学部 生物学部 化学部 薬学部 光学部 心理学部 法学部 労働関係学部 政治・社会学部 【ルーゴキャンパス】 人文学部		

	科学学部 獣医学部 商学部 (工科大学学校) *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。
学部/専攻	政治・社会学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前				国際関係論	
午後	スペイン語 B2 紛争解決	紛争解決	スペイン語 B2	政治学の手法	政治学の手法

② (1)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前				国際政治学 比較政治学	国際政治学 比較政治学
午後		スペイン語 C1	行政法	スペイン語 C1 行政法	

3. 履修内容

科目	政治学の手法		
履修期間	前期	単位数	6ECTS
授業内容／形態	30 人程度の講義型クラスと 15 人程度のインタラクティブクラス。 評価は出席点、数回の小テスト、期末試験とレポート。 政治学における科学的な研究のアプローチについて必要な知識を学ぶ。		
成績	5.3		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	行政法		
履修期間	後期	単位数	6ECTS
授業内容／形態	30 人程度の講義型クラスと 15 人程度のインタラクティブクラス。 評価は出席点、数回の小テスト、調べ学習と期末試験。 行政法の歴史や憲法との関係、行政行為について、公共部門の種類など。		
成績	9.0		
YCU 振替予定	科目	行政法 I	
	単位数	2	
	担当教員	板垣勝彦	

科目	国際政治学		
履修期間	後期	単位数	6ECTS
授業内容／形態	30 人程度の講義型クラスと 15 人程度のインタラクティブクラス。 評価は出席点、数回の小テスト、期末試験。 国際政治学の基本的な理論を学ぶ。		
成績	5.0		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 B）	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	比較政治学		
履修期間	後期	単位数	6ECTS
授業内容／形態	30 人程度の講義型クラスと 15 人程度のインタラクティブクラス。 評価は出席点、グループワークの成果、期末試験。 公共政策の分析に必要な基本的な知識とスキルを習得する。		
成績	—（学期途中で履修を中断）		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数	—	
	担当教員	—	

科目	国際関係学		
履修期間	前期	単位数	4.5ECTS
授業内容／形態	30 人程度の講義型クラスと 15 人程度のインタラクティブクラス。 評価は出席点、中間試験、個人レポート、ペアレポートと期末試験。 国際関係論の基本的な理論を学ぶ。また、現代社会の課題を取り扱う。		
成績	2.2（落第）		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数	—	
	担当教員	—	

科目	紛争解決の手法と交渉の技術		
履修期間	前期	単位数	4.5ECTS
授業内容／形態	30 人程度の講義型クラスと 15 人程度のインタラクティブクラス。 評価は出席点、インタラクティブクラスでの小課題とグループ発表（レポート作成と講義でのスライド発表）		
成績	8.6		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 C）	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	スペイン語 B2		
履修期間	前期	単位数	4ECTS
授業内容／形態	週 2 回、15 人以下の少人数クラス。 評価は出席点、自己学習の成果、スピーキング点（口頭試験と講義でのスピーチ 2 回）、筆記試験		
成績	7.0		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 D）	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	スペイン語 C1		
履修期間	後期	単位数	4 ECTS
授業内容／形態	週 2 回、15 人以下の少人数クラス。 評価は出席点、自己学習の成果、口頭試験と筆記試験		
成績	6.5		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 E）	
	単位数	2	
	担当教員	—	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

留学生生活を振り返ってまず思い出されるのは、言語に向き合った時間です。スペイン語を話すことには常に苦手意識がありましたが、講義や友人との会話では「話したい」という意欲を前に出し、限られた語彙でも工夫して発言するよう努めました。その積み重ねで少しずつ表現の幅が広がり、また自分より流暢でない友人の姿から、スペイン語にも英語のように多様な話し方があることに気づきました。同時に、考えを伝えるには簡潔さと論理性が不可欠だと実感し、それを意識して話すようになったのも大きな収穫でした。現地ならではのスラングやガリシア語の表現を知り、実際に使えたことも、参考書では得られない楽しさでした。

インプットの量は膨大で、すべてを吸収することはできませんでしたが、体験を伴って身につけた知識は忘れにくく、学習効果を実感できました。これまで日本で悩んでいた「学んでも使う場がない」という壁を乗り越えられたことは、留学でしか得られない学びだったと思います。

一方で、政治社会の講義では自分の背景知識の乏しさに悩みました。スペインや EU の事情を学ぼうとしても、初学者向けの教材が見つけにくく、周囲との理解度の差を痛感しました。また、意見交換の場で学生たちが日頃から積極的に学び、考えている姿に触れ、自分の日本での姿勢を省みました。これをきっかけに、今後は社会情勢や知らない分野にも意識を向け、自分から学んでいこうと強く思いました。

生活面では、地方での初めての一人暮らしに不安もありましたが、「興味がなくてもまずはやってみる」という姿勢で挑戦しました。その結果、言語だけでなく遊びや料理、日常の工夫など多くのことを経験できました。環境と人に恵まれ、挑戦を重ねられたことに感謝しています。

さらに、留学を通じて世界中に友人ができました。国名しか知らなかった地域からの人とも知り合いました。彼らと交流し、自分の中にメディアや SNS から無意識に偏見やイメージを作ってしまったことに気づきました。文化の違いを尊重し合い、時には楽しむことができた経験は、自分の視野を大きく広げてくれました。

振り返れば、この留学は自分の努力だけでなく、多くの人に助けられて成り立っていました。困ったときに支えてくれた人々のおかげで乗り越えられた経験は、今後自分も誰かを支える立場になりたいという思いにつながっています。人と環境に恵まれたことに深く感謝し、この学びをこれからの人生に活かしていきたいです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

この留学では、人に恵まれて大切な友人をたくさん得ることができました。今後も連絡を取り続け、再び海外で会ったり、日本に来てもらえたりしたときに楽しく会話できるよう、スペイン語の学習を継続していきたいです。現在も日本語を学ぶ友人と通話で言語交換をしており、それを続けるとともに、スペイン語圏からの観光客を対象としたガイドボランティアにも挑戦したいと考えています。資格面では、DELE B2 の取得を目指して勉強を進める予定です。

また、この留学を通して健康管理やストレス対処の方法を学べたことは、自分にとって大きな収穫でした。課題解決能力もそうですが、今後の新生活でも役に立つと思っています。

そして、留学中はスペイン語能力が周囲に比べて劣っていると感じる場面も多くありましたが、その分、ディスカッションや友人との会話では積極的に話題を振ったりリアクションを大きくしたりして、場の雰囲気をよくすることを心がけました。言葉の流暢さに頼るのではなく、空気を作る姿勢を大切にできたことは、自分にとっての成長です。今後のキャリアにおいても、初対面の人や異なるバックグラウンドを持つ人と関わる機会は多いと思います。その際には、この留学で意識してきた「場をつなぎ、関係を築く力」を活かしながら、人との信頼関係を築いていきたいと考えています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

まずは、何よりも健康第一で過ごしてほしいです。留学中は体調を崩すと自分でどうにかしなければならず、身体的にも精神的にも負担が大きいです。実際にインフルエンザなどが流行した時期もありました。日頃から健康管理やストレスの少ない生活を意識すると安心です。

また、サンティアゴには日本人留学生もいますが、インターナショナルコースや文献学部と、スペイン語専攻に所属している方が多く、他学部では同じ境遇の人が少ないかもしれません。孤独を感じることもありますが、エラスムスのイベントや友人の紹介を通じて積極的に交流を広げると良いと思います。ガリシア出身の学生と知り合いやすいのも学部留学の魅力ですし、ビーゴの語学学校には日本語学科もあるので、縁があればつながりを作るのもおすすめです。大切なのは、自分から話す環境をつくる姿勢だと思っています。

サンティアゴは小さな町ですが、スペインの田舎暮らしを体感できる素敵な場所です。バスで近郊の村を訪れるのも良い経験になりますし、休暇中にはヨーロッパ各地への旅行もぜひ挑戦してください。計画は早めに立てることがポイントです。

最後に、留学中は思わぬトラブルに直面することもあります。困ったときは一人で抱え込まず、現地の人を頼ってみてください。サンティアゴの人々は思っている以上に親切で、心強い味方になってくれます。

次の方の留学生活が最高の思い出になりますように！

